

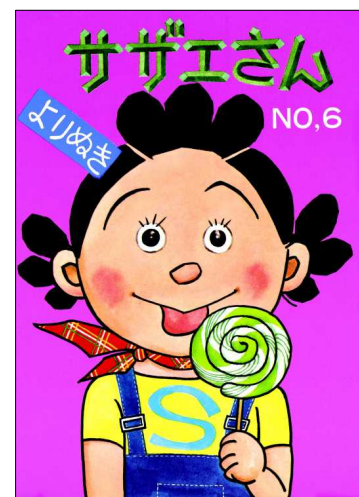
「サザエさん」の“幻のベスト版”

なんと/
全巻予約が25,000セット突破!!

累計*
発売5日で、いきなり60万部突破!!

ギフト需要も重なり予約殺到。大反響の全巻予約特典「町子手帖」も増刷決定！

株式会社朝日新聞出版(本社:東京都中央区築地)は、12月7日に復刊した『よりぬきサザエさん』(全13巻)の全巻購入予約が25,000セットに達し、発売5日で累計60万部を突破したことをお知らせします(全巻13,650円(税込))。これは当社予想を大幅に上回るペースです。「サザエさん未収録作品」「作者直筆のアイデアスケッチ」など、初公開資料満載の豪華本「町子手帖」がファンを中心に注目を集めています。また「贈り物」としての需要も高く、親から子へはもちろん、両親など「ご年配の方への贈り物」、「ご年配の方からお孫さんへのプレゼント」として予約される方が多いのも特徴です。明日12日の朝日新聞に全面広告を掲載(東京本社版)し広く告知致します。



“ベスト・オブ・サザエさん”の『よりぬきサザエさん』とは？

作者・長谷川町子さんが『サザエさん』全68巻の中から群をぬいて面白いもの

だけを選んだ幻のベスト版。長らく“絶版”だったため復刊を待ち望まれていました。『よりぬきサザエさん』定価各1,050円(税込)

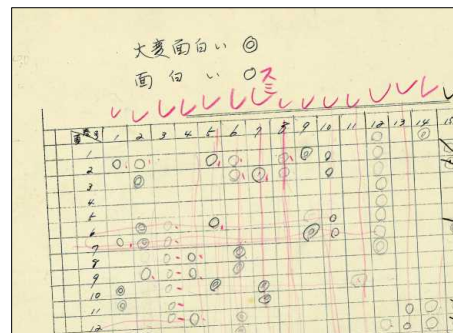
各刊には復刊特典ページを追加。全巻購入予約特典には、初公開秘蔵資料収録の「町子手帖」をプレゼント！

復刊を記念して、各巻には「サザエさん」に関する貴重な記事やイラストで構成した「特典ページ」を追加。また全巻購入予約者には、サザエさんの「書籍未収録作品」のほか、初公開となる作者直筆の「アイデアスケッチ」や「よりぬき採点表」、「懐かしの企業広告」などを収録した豪華プレミアムアルバム「町子手帖」をプレゼントします

(来年2月末日までの期間限定)。

発見された作者直筆の「よりぬき採点表」も「町子手帖」に収録。

刊行予定 1・2・3巻:12月7日発売、4・5・6巻:2013年1月4日発売、7・8・9巻:2月発売、10・11・12・13巻:3月発売



詳しくは、朝日新聞出版ホームページ、またはYouTube™で「よりぬきサザエさん」と検索。

表紙画像(13点)、初公開の「アイデアスケッチ」「よりぬき採点表」、「懐かしの企業広告」の写真データがございます。必要な方は以下までご連絡願います。

お問い合わせ: 朝日新聞出版 書籍編集部 山田京子 電話:03-5541-8784、携帯:080-2350-6791

話題!!

朝日新聞 (12月8日付・夕刊) で、

“復刻サザエさん 人気

「孫へ」「祖母へ」世代超え”

として『よりぬきサザエさん』の好調ぶりが『サザエさんかるた』復刻と共に記事になりました。

2012年(平成24年)12月8日 土曜日 3版 16

復刻サザエさん 人気



かるた増刷 2万5千部

「孫へ」「祖母へ」世代超え

漫画「サザエさん」(長谷川町子作)の復刻商品が人気だ。「サザエさんかるた」(赤ちゃんとママ社)と「よりぬきサザエさん」(朝日新聞出版)。いずれもオリジナルが出たのは数十年前だが、復刻版も増刷がかかる異例の売れ行きをみせている。

「サザエさんかるた」は11月発行。絵札も文字札も、1949年ごろ販売された原版のまま。色合いまで忠実に再現した。担当したのは、赤ちゃんとママ社の編集者駒辺恵子(28)。母が持っていたサザエさんを読んで育ったといい、「長男に幻のかるたで遊ばせたかった」。長谷川町子美術館に5年にわたって手紙を送り続け、発売の許可を得た。

かるたの札には「冷水摩擦 良子の日誦」「虫干しの陰で、かくれんぼ」。駒辺さんは「いまの子は冷水摩擦も虫干しも知らないが、むしろ祖母との会話のきっかけになるのでは」と話す。「孫にあげる」「祖母へのプレゼント」など、

どと注文が続き、増刷して現在2万5千部。1万部売ればヒットというキャラクタ―ものかるたとしては、異例の売れ行きだ。7日発売の「よりぬきサザエさん」(全13巻)は、長谷川さん自身が選んだ「ベスト版」。1981年以来、31年ぶりに復刊された。税抜きで各巻千円、全13巻のセット予約が発売前に2万3千を越えた。シリアル計30万部を突破、発売前に重版が決まった。書店で手に取った大学4年、大丸敦子さん(28)は「家族みんなが大好き。時代を経ても変わらない家族像が、はっとさせてくれる」。現役世代が自分の親へのプレゼントとして購入する例も、発売した朝日新聞出版では「世代を超えて家族をつなぐコミュニケーションツール」として重宝されているのではないかと話している。(上原佳久)

池袋本店